つるさき

発行所
鶴崎神社
〒701-0304
早島町早島2220
TEL 482-0097
FAX 482-0097
IP-phone
050-3318-1809
URL
http://www6.ocn.ne.jp/~turusaki/

竣工奉祝祭で奉納された舞楽「蘭陵王」

厳かに竣工奉祝祭

平成二十一年十月十七日、秋季大祭に併せて社殿竣工奉祝祭が、総代、来賓、氏子約二〇〇人参列の下、厳粛に斎行された。

奉祝祭では、三十台の神饌を神職、巫女、総代が供膳所から本殿に供え、宮司が祝詞を奏上した。続いて笹井和男県神社庁長が神社本庁幣を奉奠し、祭詞奏上。その後、岡山楽所により「蘭陵王」が奉納され、吉備津神社宮司を始め来賓が玉串を奉った。

引き続き奉祝式典が開催され、安原建設委員長の式辞、宮司挨拶の後、施工者の㈲井上社寺工業に感謝状が贈呈され、笹井和男県神社庁長、佐藤友彦早島町長が祝辞を述べた。

午後からは、参拝者に奉祝記念品の紅白餅、菓子、タオルが授与され、岡山楽所、倉敷アカデミーアンサンブル、KIZUNA、安来節、如水太鼓、イ草太鼓、備中神楽の奉納で賑わった。

昨年十月完成した社殿本体に続き、付帯工事の両本へ接続する「渡り殿」も三月には完成し、現在、社殿両脇に寄附芳名版の設置工事を進めております。

また、西側進入路駐車場の整備を行い、春祭り頃迄には玉垣の設置も予定致しており、車椅子で拝殿内まで進んで参拝できます。

社殿竣工奉祝祭終了後の記念撮影

竣工祭当日の様子

社殿竣工奉祝祭の記帳をする来賓

八幡神社で執行された社殿竣工奉告祭

奉祝式典で祝辞を述べる県神社庁長

祭典を奉仕する神職と参列の総代

奉祝の紅白餅等を受ける参拝者

奉納行事で五常楽急を舞う岡山楽所

神道Q&A

【質問】

神社は神道ですが、「神道」とはどのようなものなのでしょうか。

【答え】

神道の起源はとても古く、日本の風土や日本人の生活習慣に基づき、自然に生じた神観念です。

このためキリスト教のキリストのような開祖はいませんし、「聖書」のような教典もありませんが、古事記や日本書紀、風土記などにより、神道の在り方や神々のことを窺うことができます。

日本人の生活と深い関わりのある神道は当初から宗教や宗派として認識されていたわけではなく、仏教が大陸から伝来したのち、それまでの我が国独自の慣習や信仰が御祖神（みおやがみ）の御心に従う「かむながらの道」＝神道として意識されるようになりました。

神社の創立の由来はとても古く、それぞれの土地や氏族の神話的な淵源に根ざしたものです。

日本人の民族性とも共通することですが、神道の特色の一つとして、外来の他宗教に対する寛容さを挙げることができます。神道は仏教や儒教・道教などとも習合し、中世から近世にかけてさまざまな思想的な展開が見られ、我が国の文化に大きな影響を及ぼしました。

天皇陛下の御祖神である天照大御神を祀る伊勢神宮（内宮）

しかし、我が国独自の神観念は変わらず、現在まで脈々と受け継がれています。

さて、我々が生活する地域の氏神様を含めて、神社は全国至るところにあり、八百万（やおよろず）の神といわれるほど多くの神々が森厳なる神社の境内の中にお鎮（しず）まりになられています。

これは我々が生活を豊かに育んできた自然の中に神々の姿を感じ、畏敬の念をもって接してきたことによります。

こうした自然との調和を大切にする神道は、より良い自然環境を次世代に継承させるという観点からも、今後更に重要となるのではないでしょうか。

また、神道の特色の一つとして神々を敬い祖先を大切にする「敬神崇祖（けいしんすうそ）」といった考え方があります。これは神々が他の宗教のように隔絶された御存在ではなく、我々の御祖神（みおやがみ）として深い繋がりがあることを説いたものです。

自らの御先祖も丁重にお祀（まつ）りすることにより、我々を見守って戴ける神々としてお鎮まりになられるのです。

鶴崎神社を知ろう

歴史講座開催

当社の新しい社殿が完成したのを契機に、早島町立図書館では、当社の歴史や建築について見聞を広めるべく「歴史講座」を左記により開催する事となりました。

当社もこの企画に賛同し、広く氏子の皆様にもご参加願いたく、左記によりご案内致します。

平易な話と見学ですので、お気軽にご参加下さい。

記

一、日　時　五月十三日（木）
　　午後二時～三時三十分
二、場　所　鶴崎神社
　　（集合場所は拝殿です）
三、受講料　一人　五〇〇円
　　（資料代を含む）
四、締　切　五月十一日迄
五、申込み　早島町立図書館
　　☎四八二－一五一三

文化財消防訓練

一月二十六日の「文化財防火デー」に当社を管轄する倉敷消防署による消防訓練が行われた。社殿から火災が発生したとの想定で、ポンプ車、タンク車、救急車が出動し、早島町消防団も加わり、放水が行われた。

境内の社叢へ放水する消防隊員

諸祈祷・出張祭の案内

当社では左記により随時ご奉仕致しております。

◆初宮詣・交通安全・厄除・安産・家内安全・当病平癒・その他
◆地鎮祭・上棟祭・家移清祓・宅神祭・神葬祭等

ご希望の方は前もってご連絡下さい。

祭事暦

五月十五日（土）［午後七時］
　八幡神社春季大祭（露店あり）
五月十六日（日）［午前十時］
【供膳祭】
七月三十日（金）［午後五時］
　夏越祭【輪くぐり祭】（露店あり）
毎月一日（午前九時）月次祭
※月次祭にお詣りの方は、拝殿にご昇殿下さいまして祭典に参列して下さい。